



般化ってどういうこと？



A. 覚えたスキルをいろいろなところで活用できるようになること、だよ。

あるひとつの意味や行動を、いろいろな状況の中で活用できることを、療育や心理学では「般化」というよ。

「汎化」と書かれることもあるんだけど、どちらも同じ意味で使われているんだ。

場面や環境が変わったとしても、同じように行動できたり理解できたりする力、のことだね。

意見はいろいろとあるだろうけど、簡単に言うと「応用」や「応用できる力」のことだよ。

ひとつのことを身に付けて、それをさまざまな場面で応用できる。

療育や心理学では、その力を細かく段階的に評価していくんだよ。

般化には「意味般化」と「刺激般化」、「反応般化」の3種類があるんだ。

「意味般化」は、ひとつの刺激に対してそれに即した反応ができる、ことだよ。

「刺激般化」は、いろいろな刺激に対してそれに即した反応ができる、ことを指すよ。

「反応般化」は、ひとつの刺激に対して、いろいろな反応をすることができる、こと。

大好きな友だちから「おはよう」と言われたときにだけ「おはよう」と答えることができることを「意味般化」というよ。

“ひとつの刺激”が大好きな友だちということになる。

“それに即した反応”は「おはよう」という答えだね。

Aという事業所でだけ、言われなくてもランドセルを片付けられる、というのがこの状態だよ。

でもBの事業所ではそれが出来ていない。

“ひとつの刺激”がA事業所で “それに即した反応” がランドセルを片付けられる、だね。

お父さんやお母さん、知り合いのお兄さんにそれぞれ「おはよう」と言われて「おはよう」と、みんなに答えられることを「刺激般化」というんだ。

この場合の “いろいろな刺激” というのは、お父さん・先生・知り合いのお兄さん、だね。

“それに即した反応” というのは「おはよう」ということになるね。

家でも学校でも、A事業所でもB事業所でも、ランドセルはきちんと所定の位置に片づけられる。こういう状態が「刺激般化」に当たるんだ。

家・学校・A事業所・B事業所が “ひとつの刺激” で、ランドセルを所定の位置に片付けるが “それに即した反応” ということだね。

「おはよう」と言われて「おはよう」「おはようございます」「やあ」「どうも」など、いろいろな反応をすることができることを「反応般化」というよ。

“おはよう”と言われることが、ひとつの刺激、だね。

「おはよう」「おはようございます」「やあ」「どうも」と返事のバリエーションを持っていることが “いろいろな反応” だよ。

ランドセルから始まって、自分が使ったものは自分で片付ける、というところまでくると「反応般化」だね。

本でもおもちゃでもランドセルでもコップでも、自分が使ったものは自分で片づけられる。

なんであっても自分で使ったものが “ひとつの刺激” で、なんであっても自分で片づけられるが “いろいろな反応” になった、ということだね。

さて、話しは変わって「誤学習」という言葉があるよね。

なにかの “ひとつの刺激” がきっかけで “好ましくない反応” を起こしてしまう。

この “好ましくない反応” のことを指して言う言葉だよ。

この「誤学習」も、ある意味の「般化」と言えるよ。

好ましくないとはいえ、覚えたひとつのスキルを、いろいろな場面で活用できている、ということだからね。

厄介なことに、この “好ましくない反応” は、好ましい反応よりも身に付きやすいんだ。

なので、保護者やサポートする人は、真似をされても恥ずかしくない、いつでも誰が見ても正しいと思われる行動をしなくちゃいけない。

「般化」がなぜ必要かというと、覚えたことを応用して成功することが [自己肯定感](#)につながるから。

ひとつの刺激に対して好ましい行動がいつでもどこでもできる、ということが、子どもの世界を広げていくきっかけになるからなんだね。

[《MENU》](#)

[《メタ認知というのは？》](#)

[《意思決定支援というのは？》](#)

2024-01-09 掲載